

## 【韓国】 朴槿恵大統領の対日政策及び対日発言

菊池 勇次

(本稿は、海外立法情報課が執筆を依頼したものである。)

\* 朴槿恵大統領は、日韓関係について「安定化」を掲げ、領土問題は歴史問題の観点から原則に立脚して断固として対応するが、互恵的協力関係の構築のための努力も並行する方針を表明した。

### 朴槿恵(パク・クネ)大統領の対日政策

朴槿恵大統領は、大統領選挙の公約において、「①東北アジアの歴史対立について、国益の観点から断固として対処し、我々の主権が侵害される状況を容認しない。②韓中日政府及び市民社会が和解、協力の未来を共に協議する(正しい歴史認識の定着)。③東北アジアの持続可能な平和と発展のため、『東北アジア平和協力構想』を推進する。④韓米関係を包括的戦略同盟に深化、発展させ、韓中関係を戦略的協力パートナーにふさわしくアップグレードする」旨を表明し、日韓二国間関係については具体的言及を行わなかった。

大統領当選後の2013年2月21日に大統領職引継委員会が発表した140大政課題では、課題128「韓米同盟及び韓中パートナーシップの調和、発展並びに韓日関係の安定化」において、「領土問題は歴史問題の観点から原則に立脚して断固として対応するが、互恵的協力関係の構築のための努力も並行」する旨を表明した。また、課題132「FTA(自由貿易協定)ネットワーク等、経済協力力量の強化」において、「韓中日3か国の産業構造、動態的産業競争力等を考慮し、韓中及び韓中日FTAを推進する」旨を表明したが、日韓EPA(経済連携協定)には言及しなかった。

次いで、2013年2月28日に行われた尹炳世(ユン・ビョンセ)外交通商部長官候補者の国会人事聴聞会で、尹候補者は上記課題128と同様の対日外交方針を表明した上で、日本の戦略的価値について、①経済関係、②北朝鮮問題及び将来の南北統一における協力、③東アジアにおける平和構築過程での協力等の重要性を挙げ、「民主主義と市場経済を共有する重要な隣国」であるとの認識を示した。

### 朴槿恵大統領の対日発言

このような対日政策を踏まえ、朴大統領は就任前後の日本側要人との会談において、次のような対日発言を行った(発言内容は参考文献に記した韓国政府等の発表に依拠)。

#### (1) 河野洋平元衆議院議長との会談における発言(2013年2月14日)

「河野元議長も信頼外交を重視してきたように、信頼外交を新政権の外交政策の基礎としている。また、両国はいくらでも未来志向的に発展していけると信じる。韓日間の協調がいつにも増して重要な時期に、過去の問題が国民感情を刺激し、未来志向

的關係の發展の障害になつてはならず、日本が被害者の苦痛を心から理解する立場に立って考へて欲しい。韓日の緊密な關係こそが北東アジアの經濟共同体や東アジア共同体というビジョンを実現する最初の『ボタン』になり得る。」

(2) 大統領就任演説での発言 (2013年2月25日)

「今後、アジアにおける緊張と対立を緩和し、平和と協力が一層広がるよう、米国、中国、日本、ロシア及びアジア大洋州諸国等、域内諸国と一層厚く信頼を積み重ねる。」

(3) 麻生太郎副総理との会談における発言 (2013年2月25日)

「韓日両国が東北アジアと世界平和のために和解と協力の未来に進まなければならないにもかかわらず、歴史問題等の懸案が両国關係の發展を阻害していることについて残念に思う。眞の友好關係構築のために歴史を直視しつつ、過去の傷がこれ以上悪化せずに癒されるよう努力しなければならない。また、被害者の苦痛に対する眞心のこもった理解がなければならない。特に、両国の指導者が慎重な発言と行動を通じ、信頼を持続的に構築していくことが重要である。」

(4) 額賀福志郎日韓議員連盟会長及び福田康夫元内閣総理大臣等との会談における発言 (2013年2月26日)

「(福田元総理に対し) 再生可能エネルギー等、科学技術、福祉をはじめとした新しい分野での協力を含め、韓日關係發展のため努力を傾けていただくことを期待する。」

「(額賀会長に対し) 日韓議員連盟会長に就任したことに祝意を表し、両国議員連盟の体制が新たに整ったところで、韓日議員連盟と共に両国間の意思疎通及び協力關係發展のために活発に活動していただくことを期待する。韓日両国間にこれまで残念なことがあったが、両国の新政権発足を契機に過去の重荷を減らし、新しい出発が可能になるよう信頼を厚く積み重ね、安保、經濟、東アジアに対する貢献等での協力を強化していくことを希望する。」

(5) 安倍晋三内閣総理大臣との電話会談における発言 (2013年3月6日)

「韓日両国は未来を共に作っていく重要なパートナーであり、東アジア共同体構築の最初の『ボタン』は緊密な二国間關係にかかっており、韓日新政権の発足を契機に両国關係發展のために共に努力していきたい。また、両国關係の發展を阻害している過去の問題を未来の世代に持ち越さないよう政治指導者らが決断を下し、積極的かつ未来志向的な關係を作っていくことを希望する。」

参考文献(インターネット情報は2013年4月22日現在である。)

- ・ 새누리당(セヌリ党)「제 18 대 대통령 선거 새누리당 정책공약」(第18代大統領選挙セヌリ党政策公約)<[http://www.saenuriparty.kr/web/policy/pledge/pledge\\_main.do](http://www.saenuriparty.kr/web/policy/pledge/pledge_main.do)>より
- ・ 第18代大統領職引継委員会「박근혜 정부 희망의 새 시대를 위한 실천과제」(朴槿惠政府、希望の新時代のための実践課題)(※発表当時のものから若干記述の変更がなされている。)<<http://www.korea.kr/gonggam/download.do?fileId=01H8TKiVMDGJM000>>より
- ・ 청와대(青瓦台)「청와대 뉴스」(青瓦台ニュース)<[http://www.president.go.kr/kr/president/news/news\\_list.php](http://www.president.go.kr/kr/president/news/news_list.php)>より